



一枚一枚丁寧に生地を焼く小田則貞さん

は中学2年生のとき。6年前から家業を支え、今では朝から晩まで、1日2000個以上のどら焼きを焼く毎日です。則貞さんにとつて、小田さんの作った『ジャンボどら焼き』も『石狩森と海の恵み』も、土地や家屋に匹敵する『財産』。『社長が残してくれたものを、一生懸命に自分が守らなければ』と、固く誓います。

父の思いは、今、しっかりと息子に受け継がれています。

3つの「あい」をキーワードに、また、「愛の路・あいロード」と位置付けて、若いカップルにここで愛をはぐくんでもらうために、さまざまな企画を開催する予定です。

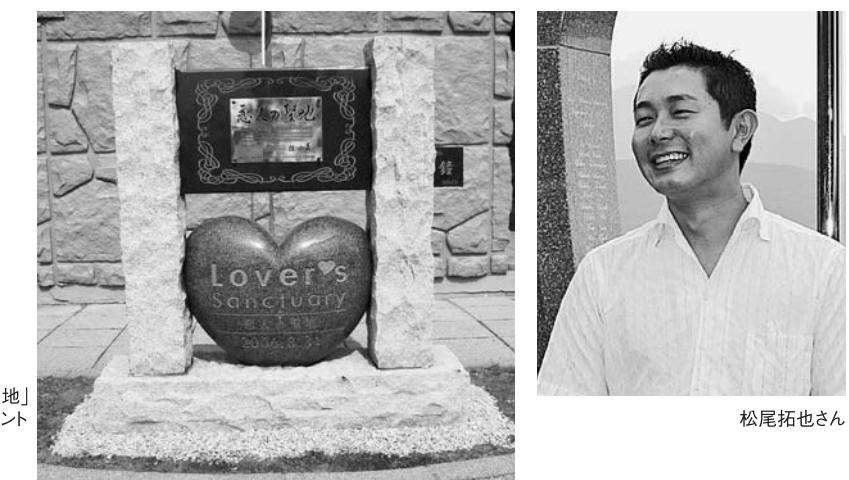
すでに、地元企業藤女子大学・市が連携して、「オール石狩」「あい」を提供しようという企画も進められています。

#### ◆市民の力で新モニュメント誕生

同プロジェクトの第1弾として、8月10日に浜益・ふるさと公園に新モニュメント「Lovers' Ocean (ラバーズオーシャン)」がお披露目となりました。モニュメントを寄贈したのは、(有)三愛の松尾拓也さん(33)。以前から「できる範囲で地域に貢献することは、とても大切」と考えてきた松尾さんは、昨年6月、市から「恋人の聖地」認定プレートの台座制作に協力を要請されたのをきっかけに、「それならば、いつそきちんととしたものを」と、ハート型のモニュメントも寄贈しました。

このときは納品までに「月半ほど」に認定されたのをきっかけに、積極的な活動が展開されてきました。

厚田公園展望台をプロジェクトの象徴として石狩の頭文字「i」、厚田の「あい風」※2、浜益の「愛冠岬」※3



松尾拓也さん

する計画が浮上。今度は松尾さんの方から、地域の人たちを巻き込んだモニュメント作りを提案しました。

◆若いカップルを狙え！

3市村合併後、初の全市レベルの取り組みとなつた「isihikari あいロードプロジェクト」が進行中です。

今年3月に市が策定した「石狩市観光振興計画」の重点プロジェクトの

一つに位置付けられ、厚田公園展望台が「恋人の聖地」※1の道内第1号に認定されたのをきっかけに、積極的な活動が展開されてきました。

厚田公園展望台をプロジェクトの象徴として石狩の頭文字「i」、厚田の「あい風」※2、浜益の「愛冠岬」※3

※1 ブライダルデザイナーの桂由美氏を中心に行なわれる「恋人の聖地」プロジェクト

※2 厚田区で古くから言われている、幸せを運ぶ海からの風

※3 浜益区毘沙別の海岸岬

厚田公園展望台「恋人の聖地」にあるモニュメント

8月に結婚した浜益区在住の門脇弥さんと麻美さんが初登壇



式当日は、モニュメントのデザイン企画に参画した藤女子大学生たちが司会を担当



浜益・ふるさと公園にハートと四つ葉のクローバーをモチーフにした「Lovers' Ocean」が誕生。写真は8月10日に行われた除幕式の様子

その結果、モニュメントのデザインには地元の藤女子大学の学生が、また設置に当たっては浜益の岸本産業(株)が協力してくれることになりました。

本業では主に墓石を扱う松尾さん。それだけに「学生の『アーチの下を恋人たちがくぐる』という発想が面白かった。普段の仕事ではなかなか得られない刺激をもらいました」と振り返り、モニュメント除幕式では感慨無量の様子でした。

### ◆スイーツ、そして カップルメニューも

浜益区のモニュメント完成を機に、今後は市内の菓子店と藤女子大学生がタッグを組み、あいロードにちなんだものづくりが企画されています。

また、恋人たちをターゲットにしたおもてなしメニューも市内飲食店から募集していく、8月8日の地域FM放送局「i RADIO (アイラジオ)」では、花川の「焼鳥居酒屋 昭和村」で出している「オンライン牛」「ラブラン」というカップルメニューも紹介されました。

「永遠の愛誓う観光のメッカに!」を合言葉に、商工労働観光課では今後も引き続き、市内で飲食店を経営される皆さんとの、アイデアあふれるカップルメニューのご提案をお待ち

本市が時代の転換期を乗り越えるためには、今回ご紹介した活動のように、新たな地域価値を創出する取り組みが不可欠です。市では今後もこうした地域ブランド開発をさまざまな形でお手伝いし、市の発展に努めてまいります。

ちしています!

\* \* \*



「i RADIO」の取材で「焼鳥居酒屋 昭和村」を訪れた藤女子大学の船田優さん(写真左)と岡崎伸子さん(中央)。「ラジオで市内のお店や施設の情報を伝えたい」と活動に参加。写真は店主の佐藤さん(右)とカップルメニュー「オンライン牛」を持って